

2. 経営学部で学ぶ皆さんへ

経営学部は平成21年（2009）に経済学部から分離独立して誕生した新しい学部です。しかしその歴史は古く、今から100年近く前の大正11年（1922）、東北学院のなかに設置された「専門部商科」にまで遡ることができます。最初の卒業生は18人でした。

戦後、東北学院大学に文経学部経済学科が誕生し、高度経済成長期に経済学部商学科へと改組され、さらに2001年には「経営学科」と名称を変更して冒頭に述べた経営学部の誕生へと繋がっていきます。

この間、経営学部はその前身の商科・商学科の時代を通して約1万数千名の卒業生を世に送り出してきました。さらに本学OBには約500人以上の経営者（社長）がいるとも言われています。このように長い伝統のうえに革新を積み重ねてきた東北学院大学と経営学部には、これまでに培われた実績と、地域社会の各所で活躍されているOB先輩たちという大きな財産があります。皆さんも本学を卒業し社会に出るとすぐに東北学院のOBネットワークの一員であることに気づかされるとともに、それが様々な出会いや実りをもたらしてくれることを実感されると思います。そしていずれは皆さん自身がさらなる後輩たちを迎え入れる学院ネットワークの一員となっただけならと考えています。

さてこれから皆さんが学んでゆく経営学部では、経営学に関する様々な学問を大きくマネジメント、マーケティング、ファイナンス、アカウンティングの4つの領域に区分しています。マネジメントは、企業などの組織の管理や運営に関する学問分野であり、マーケティングは、顧客が満足する製品やサービスの創造に関する学問分野です。またファイナンスは企業の資金調達や資金運用等に関する学問分野であり、アカウンティングは企業活動の状況や成果の測定・報告に関する学問分野です。

また経営学部では、特色ある実践系の科目を独自に展開しています。「おもてなしの経営学」「ビジネスケース研究」「七十七銀行提供講座」「株式投資シュミレーションゲーム」などがそれです。これらについても積極的に履修されることをお勧めしたいと思います。

経営学部では現在50以上の専門教育科目を提供していますが、皆さんが科目選択をされる際にはこれらの科目がどの分野に属しているのか、それらをどういうプロセスで学んでいけばよいのかをきちんとイメージすることが大切です。このシラバスはそのための最も頼りになるツールです。これを活用されることで皆さんのこれからの学生生活がいつそう充実したものになりますよう願っております。



経営学部長

齋藤善之